

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表 の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の 名称	概 要
1 (学術論文) NPPV 人工呼吸器における吸気 立ち上がり時間とフェイスマスクの 選択が患者換気状態へ及ぼす影 響に関する基礎検討	共著	2021年 3月	医療工学雑誌 第15号 2021	非侵襲的陽圧換気(NPPV)における吸気立ち上がり時間と 使用するフェイスマスクの組合せが、患者の換気状態(吸気 努力、換気量、機械的仕事量)へ及ぼす影響について、自 発呼吸モデルを用いて実験的に検討した。(8頁) (河村将熙、武藏健裕) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (学術論文) 気道形状および挿管チューブカ フ形状の違いが人工呼吸管理中 の垂れ込みに及ぼす影響につい て	共著	2020年 11月	広島県臨床工学技 士会会誌 Vol.9	挿管チューブのカフ形状の違いが、人工呼吸器関連肺炎 の原因とされる垂れ込みへ及ぼす影響について実験的に 検討した。(5頁) (半田啓斗、武藏健裕) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3 (学会発表論文) 閉鎖式気管吸引における吸引開 始のタイミングが吸引量へ与える 影響について	共著	2017年 11月	広島県臨床工学技 士会会誌 Vol.6	人工呼吸器使用時の閉鎖式気管吸引における吸引開始の タイミングが吸引効率へ与える影響について実験的に検討 した。(6頁) (沖田壮太、林佑樹、武藏健裕) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (学会発表論文) 長時間透析におけるポンプセグメ ント部変化と流量特性に関する基 礎検討	共著	2017年 2月	広島県臨床工学技 士会会誌 Vol.5	長時間透析等におけるポンプ運転時間の延長がポンプセ グメントの劣化に与える影響について流量特性および回路 疲労度(外径変化、硬度変化)から検討評価した。(2頁) (石飛翔吾、坂木潤、源内紀輝、原子成也、松浦千澄、西 野梨々果、平原麗菜、堤田香、武藏健裕) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 (学術論文) 止血弁付透析用留置針における 流量特性と弁機能の実験的基礎 検討《筆頭論文》	共著	2016年 12月	日本血液浄化技術 学会会誌 第24巻 第2号	安全性・操作性向上が期待される止血弁付透析用留置針 の使用に際し、脱血流量や止血弁の機能(漏れの有無な ど)について実験的に検討評価した。(10頁) (武藏健裕、松浦千澄、徳毛悠真、清水希功) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
6 (学術論文) オンライン血液透析濾過の生体適 合性の評価のための体外循環白 血球内 TNF α mRNA 定量の臨 床的有用性	共著	2016年 3月	医療工学雑誌 第10号 2016	HDF 前後の採血において、従来の酵素免疫法(ELISA)に よる「血漿 TNF α タンパク質濃度」と逆転写一定量 PCR による「白血球内 TNF α mRNA 量」を測定しその変化を比較 し、生体適合性の評価における白血球内 TNF α mRNA 定 量の臨床的有用性を報告した。(8頁) (丹野福祉、速水啓介、新井翔太、中村雄二、中村俊平、 山口裕右、杵野祥子、武藏健裕、清水希功) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
7 (学術論文) 血液浄化用ローラーポンプ長時 間運転における流量特性の検討	共著	2016年 2月	広島県臨床工学技 士会会誌 Vol.4	長時間透析等におけるポンプ運転時間の延長がポンプセ グメントの劣化に与える影響について流量特性から検討評 価した。(4頁) (長瀬貴史、小原啓太、武藏健裕) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
8 (学術論文) トリプルルーメンカテーテルにお ける血液再循環増加因子の基礎検 討《筆頭論文》	共著	2015年 12月	日本血液浄化技術 学会会誌 第23巻 第3号	血液浄化用トリプルルーメンカテーテル使用上で問題となる 血液再循環について模擬回路を作成し実験的に評価した。 (8頁) (武藏健裕、竹内雄大、吉野祥太) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
9 (発表・報告) 閉鎖式気管内吸引における垂れ 込み現象と気管内チューブのカフ のシワ数に関する研究	共同	2023年 3月	第50回日本集中治 療医学会学術集会 (京都)	気管内チューブを用いた人工呼吸管理中において、閉鎖 式気管内吸引を実施する際に発生する垂れ込み量とカフに 発生するシワ数に関して基礎実験にて検討し報告した。 (武藏健裕、西川大地、平石愛莉、野津亮太、和田健太、 松浦巧、山本玲華、脇田真梨菜) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能

その他(学術論文、学会発表論文): 19件(内、筆頭論文 11件)
 その他(発表・報告): 2022年度: 5件、2021年度: 4件、2020年度: 1件、2019年度: 7件、2018年度: 10件、2017年度以前: 計 99件